



長野

発行所 中日新聞社
名古屋市中区三の丸一丁目6番1号
〒460-8511 電話 052(201)8811

県高校総体2位 弓道インターハイ出場

心身を鍛練 射形整える

5日に長野市で開かれた県高校総合体育大会弓道競技で女子個人2位。19、20日の北信越大会と7、8月のインターハイの切符を手にした。「北信越は1本目から当てられるように。インターハイはレベルが高く、全部当てる気持ちで臨み、勝ち抜きたい」と話す。

ロカールーム

登内静紅さん(17)＝駒ヶ根工業高



インターハイで力を出し切ると誓う登内さん＝駒ヶ根市の駒ヶ根工業高で

などを楽しみ、中学校ではバレーボールに熱中した。駒ヶ根工業高校(駒ヶ根市)への進学に合わせて、新しい競技を始めてみよう、弓道部に入部した。「最初は全然、想像がつかないスポーツだった」。2カ月間近くは筋トレに励み、弓道に対する知識を深めた。小中学校は団体競技に親しんでおり、個人競技という点も未知の世界。ただ、全ての結果が自分次第という部分が、自身の成長を促したという。

5月の南信大会で7位になり、初の県大会に臨んだ。矢を12本射るうち、最初の3本を連続して外した。それまでの大会ではうまく修正できず終わるパターンだったが、この時は矢の飛ぶ場所から修正すべき点をつかんだ。普段の感覚を取り戻し、8本を的に当てることができた。

弓を構えて矢を射る一連の所作には、心身の鍛練も必要とされ「自分の射形が整い、的に当たると気持ちいい」。インターハイでは4本の矢を放ち、3本以上当てた選手が勝ち上がっている。「緊張に負けず、普段通りの力を出し、少しでも上位を目指す」(石川才子)

令和3年6月21日掲載